

## 防災拠点等となる建築物に係る機能継続ガイドライン（骨子試案）

## ＜本日、特にご議論頂きたい論点について＞

- 本日は、ガイドライン（骨子試案）の全体的な構成のほか、構造躯体・非構造部材の設計における目標設定、変形制限値の設定に関する部分（3章及び6章）について、特にご議論頂き、ご意見を頂きたい。（いただいたご意見を踏まえて検討を進めてまいりたい）
  - ・機能継続の目標に応じた構造体の変形量の目安（P8）については、ガイドラインの本文又は解説の中に記載することを考えているが、既往のガイドライン等に示されている数値の妥当性について、どのようにして検証していくべきか。
  - ・構造体の変形制限値の目安について、設計上の参考値として用いるためには、どのような点に注意すべきか。
  - ・許容応力度計算等の構造計算ルートで建築される小規模な建築物を防災拠点として活用する場合に、変形量をどのように管理していくべきか。
- さらに、次回検討会に向け、特に「立地計画」（P6）、「建築計画」（P7）、「大地震発生後の円滑な機能継続のための平時からの準備」（P14）については、地方公共団体や設計実務者に対し、設計上及び管理上のニーズや留意点についてヒアリングを行うことを想定。この際のポイント等についてアドバイスいただきたい。
- このほか、防災拠点等となる建築物の機能継続を図るにあたり、特に議論すべき課題があればご意見をいただきたい。